



## 2025年10月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年6月13日

上場会社名 株式会社オービス 上場取引所 東  
コード番号 7827 URL <https://www.orvis.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中浜 勇治  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 清輝 TEL 084-934-2621  
半期報告書提出予定日 2025年6月13日 配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年10月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年11月1日～2025年4月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期中間期	6,735	14.0	385	26.6	378	21.6	241	△5.0
2024年10月期中間期	5,908	-	304	-	310	-	254	-

(注) 包括利益 2025年10月期中間期 212百万円 (△23.7%) 2024年10月期中間期 278百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期中間期	136.82	-
2024年10月期中間期	144.53	-

(注) 2024年10月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年10月期中間期の対前年中間期増減率については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年10月期中間期	13,538	5,512	40.7
2024年10月期	12,460	5,407	43.4

(参考) 自己資本 2025年10月期中間期 5,512百万円 2024年10月期 5,407百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	-	0.00	-	67.00	67.00
2025年10月期	-	0.00	-	-	-
2025年10月期（予想）	-	-	-	57.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,853	12.3	600	3.5	580	0.4	399	△8.2	225.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年10月期中間期	1,775,469株	2024年10月期	1,767,104株
② 期末自己株式数	2025年10月期中間期	1,337株	2024年10月期	1,337株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年10月期中間期	1,768,170株	2024年10月期中間期	1,761,220株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済情勢の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、第2四半期（中間期）決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資が持ち直し、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、米国通商政策の動向、原材料価格や資源価格の高止まり、諸物価の上昇等により国内外の経済活動に与える影響が引き続き懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、2023年10月期～2027年10月期を対象期間とするグループ中期経営方針「NEXT STEP 10」の折り返し地点を迎える中、2024年3月に子会社化した寿鉄工株式会社(ハウス・エコ事業)において、従前の当社グループでは取引のない顧客層を獲得する等、大型物件の受注回復と相まって、大きく売上高を伸ばしました。また、同社では生産能力向上を目的とした大型溶接ロボットの発注を行う等、将来の収益力増強に向けた事業基盤の強化を図ってまいりました。

その結果、売上高は67億35百万円(前年同期比114.0%)、営業利益は3億85百万円(前年同期比126.6%)、経常利益は3億78百万円(前年同期比121.6%)、親会社株主に帰属する中間純利益は2億41百万円(前年同期比95.0%)となりました。

これにより、純資産は前連結会計年度末の54億7百万円から55億12百万円となり、自己資本比率は43.4%から40.7%となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。営業損益につきましては、全社費用等配分前で記載しております。

#### (木材事業)

梱包用材等の業界におきましては、長期にわたる中国経済の低迷や米国通商政策の不透明感から輸出梱包の需要が盛り上がり欠けるなど、依然として厳しい受注環境が続いております。

このような環境のもと、対ドル円ベースで上半期は150円を超える円安水準の原材料(NZ丸太)を製材したことに加えて、物流の2024年問題を端緒とした運送コストの上昇により収益性が低下いたしました。一方、船舶運賃や為替動向等に大きく左右される外国産材から、価格の安定している国産材への切り替えが更に加速し、これを受けて国産杉の生産比率を高めて対応するなど、梱包マーケットが低迷を続ける中、フル生産に近い受注量を確保いたしました。

その結果、売上高は37億53百万円(前年同期比100.8%)、営業利益は1億77百万円(前年同期比65.1%)となりました。

#### (ハウス・エコ事業)

建設業界におきましては、公共投資はインフラ整備を中心として堅調に推移し、民間の設備投資についても回復傾向が見られるものの、慢性的な人手不足や長時間労働が常態化している構造的な課題に加えて、人件費や建設資材価格の高止まり等により、厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと、子会社と協業し大型物件の受注獲得に向けて営業活動を強化するとともに、資材価格や外注費の高騰に対しては販売価格への転嫁を推し進めてまいりました。また、売上高の増加に伴う売上総利益の増加に加えて、受注時採算性の改善や原価管理の徹底によって売上総利益率が向上いたしました。

その結果、売上高は26億21百万円(前年同期比145.2%)、営業利益は2億50百万円(前年同期比276.2%)となりました。

#### (太陽光発電売電事業)

一部の太陽光発電所においてパワーコンディショナーの故障があったものの、発電量の多い4月度において日照時間が長かったことから、売電収入は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。

なお、現在3県15ヶ所の太陽光発電所を運営し、総発電容量は約13メガワットとなっております。

その結果、売上高は1億83百万円(前年同期比98.4%)、営業利益は1億8百万円(前年同期比100.7%)となりました。

#### (ライフクリエイト事業)

ゴルフ場業界におきましては、新型コロナウイルス感染症からの行動制限緩和に伴う他レジャーへの移行・分散が進んでおります。また、プレイヤーの高齢化に伴う競技人口の減少により、ゴルフ場間の低価格料金による集客競争が一層激化する等、厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと、引き続きコース管理の充実に努めてまいりました。また、当ゴルフ場は開場50年が経過し、クラブハウス内の設備やメンテナンス機械類等の計画的な修繕を実施いたしました。

その結果、売上高は1億77百万円(前年同期比100.4%)、営業利益は12百万円(前年同期比50.5%)となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当中間連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して10億78百万円増加し、135億38百万円となりました。その主な要因は現金及び預金が4億44百万円、完成工事未収入金及び契約資産が4億63百万円、リース未収入金が5億84百万円、その他(流動資産)が2億49百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が1億54百万円、原材料及び貯蔵品が4億35百万円、機械装置及び運搬具が2億17百万円それぞれ減少したことによるものであります。

## (負債)

当中間連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比較して9億73百万円増加し、80億25百万円となりました。その主な要因は工事未払金が1億90百万円、短期借入金が2億50百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億45百万円、長期借入金が3億24百万円、その他(流動負債)が1億30百万円それぞれ増加し、支払手形及び買掛金が80百万円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して1億5百万円増加し、55億12百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が1億23百万円増加し、その他有価証券評価差額金が26百万円減少したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して4億44百万円増加し、12億29百万円となりました。

当中間連結会計期間の活動別概況は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は1億20百万円(前年同期は3億15百万円の資金増加)となりました。増加要因は、税金等調整前中間純利益3億68百万円、減価償却費3億1百万円、棚卸資産の減少額2億54百万円であり、減少要因は、売上債権の増加額9億66百万円、前渡金の増加額2億51百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は26百万円(前年同期は2億11百万円の資金増加)となりました。増加要因は、投資有価証券の売却による収入12百万円であり、減少要因は、有形固定資産の取得による支出42百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は5億91百万円(前年同期は2億79百万円の資金減少)となりました。増加要因は、短期借入金の増加額2億50百万円、長期借入れによる収入11億円であり、減少要因は、長期借入金の返済による支出6億29百万円、配当金の支払額1億17百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期の連結業績予想につきましては、2024年12月13日の「2024年10月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した業績予想値に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (2025年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	875,548	1,319,791
受取手形及び売掛金	1,363,875	1,209,858
電子記録債権	467,200	540,657
完成工事未収入金及び契約資産	466,271	929,590
リース未収入金	2,076,549	2,660,690
商品及び製品	122,819	149,622
仕掛品	88,579	128,395
未成工事支出金	104,713	218,873
原材料及び貯蔵品	722,669	287,180
その他	87,304	336,489
流動資産合計	6,375,531	7,781,149
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,198,211	1,154,363
機械装置及び運搬具(純額)	1,392,457	1,174,504
土地	2,994,429	2,970,173
その他(純額)	170,476	173,800
有形固定資産合計	5,755,575	5,472,841
無形固定資産		
のれん	10,444	8,952
その他	20,447	17,085
無形固定資産合計	30,891	26,038
投資その他の資産		
投資有価証券	188,658	151,322
その他	111,191	108,171
貸倒引当金	△1,820	△676
投資その他の資産合計	298,030	258,817
固定資産合計	6,084,496	5,757,697
資産合計	12,460,028	13,538,846

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (2025年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	652,476	571,609
工事未払金	369,977	560,272
短期借入金	—	250,000
1年内返済予定の長期借入金	1,040,807	1,186,730
未払法人税等	111,820	124,943
賞与引当金	127,977	131,581
完成工事補償引当金	1,314	1,051
その他	675,670	806,233
流動負債合計	2,980,044	3,632,421
固定負債		
長期借入金	3,725,820	4,050,764
退職給付に係る負債	154,142	149,075
資産除去債務	9,785	9,903
その他	182,534	183,713
固定負債合計	4,072,282	4,393,457
負債合計	7,052,326	8,025,879
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	703,974	709,742
資本剰余金	531,974	537,742
利益剰余金	4,092,442	4,215,936
自己株式	△1,301	△1,301
株主資本合計	5,327,090	5,462,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,637	50,848
繰延ヘッジ損益	2,973	—
その他の包括利益累計額合計	80,611	50,848
純資産合計	5,407,701	5,512,967
負債純資産合計	12,460,028	13,538,846

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
売上高	5,908,346	6,735,823
売上原価	4,827,259	5,533,179
売上総利益	1,081,087	1,202,644
販売費及び一般管理費	776,502	817,187
営業利益	304,584	385,456
営業外収益		
受取利息	1	68
受取配当金	2,038	2,637
作業屑等売却代	1,261	2,010
仕入割引	197	—
受取賃貸料	2,400	2,400
補助金収入	15,827	—
その他	1,042	1,372
営業外収益合計	22,768	8,489
営業外費用		
支払利息	15,760	15,343
その他	648	603
営業外費用合計	16,408	15,946
経常利益	310,944	378,000
特別利益		
固定資産売却益	81,374	207
投資有価証券売却益	—	9,833
特別利益合計	81,374	10,041
特別損失		
固定資産売却損	—	19,810
特別損失合計	—	19,810
税金等調整前中間純利益	392,319	368,230
法人税、住民税及び事業税	140,817	112,570
法人税等調整額	△3,055	13,733
法人税等合計	137,761	126,303
中間純利益	254,557	241,927
親会社株主に帰属する中間純利益	254,557	241,927



## (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
中間純利益	254,557	241,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,930	△26,789
繰延ヘッジ損益	550	△2,973
その他の包括利益合計	23,480	△29,763
中間包括利益	278,038	212,163
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	278,038	212,163

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	392,319	368,230
減価償却費	308,925	301,951
のれん償却額	—	1,492
貸倒引当金の増減額(△は減少)	159	△1,143
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	416	△262
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,344	△5,066
受取利息及び受取配当金	△2,039	△2,705
支払利息	15,760	15,343
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,187	3,604
補助金収入	△15,827	—
固定資産売却損益(△は益)	△81,374	19,602
固定資産除却損	291	104
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△9,833
売上債権の増減額(△は増加)	△490,152	△966,900
棚卸資産の増減額(△は増加)	△62,823	254,710
前渡金の増減額(△は増加)	—	△251,178
仕入債務の増減額(△は減少)	426,773	109,427
その他	△31,867	155,891
小計	472,092	△6,731
利息及び配当金の受取額	874	1,182
利息の支払額	△15,778	△15,292
補助金の受取額	15,827	—
法人税等の支払額	△157,918	△99,555
営業活動によるキャッシュ・フロー	315,096	△120,397
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,680	△1,680
投資有価証券の売却による収入	—	12,479
有形固定資産の取得による支出	△58,654	△42,759
有形固定資産の売却による収入	346,877	5,147
無形固定資産の取得による支出	△12,638	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△62,842	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	211,062	△26,811
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	250,000
長期借入れによる収入	440,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△579,190	△629,133
リース債務の返済による支出	△23,579	△11,698
配当金の支払額	△116,455	△117,713
財務活動によるキャッシュ・フロー	△279,224	591,455
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	246,934	444,243
現金及び現金同等物の期首残高	704,243	785,548
現金及び現金同等物の中間期末残高	951,177	1,229,791

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	木材事業	ハウス・エコ事業	太陽光発電 売電事業	ライフ クリエイト 事業	不動産事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	3,723,635	1,805,225	185,898	177,274	16,312	5,908,346
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,723,635	1,805,225	185,898	177,274	16,312	5,908,346
セグメント利益	272,672	90,771	107,876	25,579	9,428	506,328

※ 2024年2月に賃貸用不動産2棟の譲渡を行い、不動産事業から撤退しております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	506,328
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△201,743
中間連結損益計算書の営業利益	304,584

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

2024年3月5日付で寿鉄工株式会社の全株式を取得いたしました。これにより、ハウス・エコ事業セグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は11,936千円であります。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	木材事業	ハウス・エコ事業	太陽光発電 売電事業	ライフ クリエイト 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,753,584	2,621,300	183,000	177,938	6,735,823
セグメント間の内部売上高又は振替高	130	—	—	—	130
計	3,753,715	2,621,300	183,000	177,938	6,735,954
セグメント利益	177,400	250,738	108,634	12,912	549,686

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、賃貸用不動産2棟の譲渡を行い、不動産事業から撤退したことに伴い、当中間連結会計期間より「不動産事業」の区分を廃止しております。

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	549,686
セグメント間取引消去	△130
全社費用(注)	△164,099
中間連結損益計算書の営業利益	385,456

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。